



医療法人 南労会

紀和病院



発行者：紀和病院 看護部教育委員会

発行日：平成 30 年 1 月発行

第 50 号 (12月・1月合併号)

あいまして
おめでとう
ございます



1月10日(水)

新人看護師：

9ヶ月の振り返り



入職して早くも9ヶ月が過ぎました。今回は技術講習ということで、CV挿入介助とポンプ類の取り扱いについて、再学習しました。

講師も教えるために学習を深めてから、臨みました。実際の物品や機器を使用して行うことで、より関心を持つことができました。

1月31日は、部署での進捗状況の確認を行う予定です。



～あるコラムより～ アドラー流「劣等感を味方につける」

アドラーの心理学では「劣等感」は、健康で正常な努力と成長への刺激」と言われます。劣等感があるからこそ、目標に近づこうと努力するという考えです。大切なのは、「結果よりもプロセス」です。目標に向かって努力している自分があれば十分です。少しずつでも、前に向かって進んでいけば成果は必ずついてきます。「あれもできない・これができない」ではなく、「昨日よりこれができた」という足し算で考えていきましょう。新人のときは、できなくても当然です。「不完全な自分」を受け入れ、「自分には伸びしろがある」とこれからの自分の成長を楽しみにしてみましょ。先輩たちも頑張る厚き沈みきたくさん経験しながら今にたどりついてます。

2月・3月の研修

3月7日(水)：新人

1年の振り返り 14:00～

その他、研修の案内があります
詳細は、そちらをごらんください

<編集後記>

このお便りを発行してもうすぐ丸5年になります。記念すべき第50号になりました。お便りを通して、教育委員がどんな取り組みをしているのか少しでも知ってもらえればと思っています。

日々の業務は忙しいと思います。研修は任意の参加ですが、自己研鑽はとて大切で、看護部が目指す看護師像である「やわらかい態度で寄り添う看護師」を目標に、知識を身につける努力をしながら、人間性豊かな人に成長してもらいたいと願っています。

教育担当 辻本

